

厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
分担研究報告書

過疎地域等における急性心筋梗塞の急性期治療の体制整備に関する研究

| | | | |
|-------|-------|--------------------------------|----|
| 研究分担者 | 山岸 正和 | 金沢大学医薬保健研究域医学系臓器機能制御学 循環器内科 | 教授 |
| | 坂田 憲治 | 金沢大学医学部附属病院 循環器内科 | 助教 |

【研究要旨】 地方 4 県を対象に都市部および過疎地域を含む医療圏における急性心筋梗塞に対する診療実態を分析することにより、各医療圏における問題点を抽出し、特に過疎地域における急性心筋梗塞の救急医療体制について検討すること。

A. 研究目的

本研究の目的は、地方 4 県を対象に都市部および過疎地域を含む医療圏における急性心筋梗塞に対する診療実態を分析することにより、各医療圏における問題点を抽出し、特に過疎地域における急性心筋梗塞の救急医療体制について検討することである。

B. 研究方法

青森県、三重県、石川県、愛媛県における急性冠症候群患者を前向きに登録し、各県において都市部と過疎地域の 2 群に分けた上で、医療圏ごとの急性心筋梗塞の発生状況や救急医療体制や予後に関する現状分析を行う。各県、医療圏間で比較を行うとともに、大都市(東京都 CCU ネットワーク)におけるデータと比較検討する。

(倫理面への配慮)

- 1) 本研究は多施設観察研究であり、担当医師はヘルシンキ宣言を遵守し実施する。
- 2) 本研究では原則的にそれぞれの医療機関が通常行っている治療方針に基づいて治療法・薬剤等の使用が決定されるものである。
- 3) 患者データの取り扱いについてはその機密保護に十分に配慮する。個人情報はずべて匿名化し、個人が特定されないよう格別の配慮を要する。登録システムに関しても SSL(Secure Socket Layer)によりデータを暗号化することで個人データ漏洩のリスクを最小化するように配慮する。

C. 研究結果

本年度は、石川県における 8 参加施設(金沢大学附属病院循環器内科、小松市民病院、恵寿総合病院、金沢医療センター、金沢医科大学病院、石川県立中央病院、公立松任石川中央病院、心臓血管センター金沢循環器病院)と平成 25 年度における登録作業を開始し、石川県においては、合計 230 症例を登録完了した。

D. 考察

平成 25 年度においては、データベースに基づき、Web 登録システムを用いることで円滑に急性冠症候群のデータ収集を完了することが出来た。基本収集データのクリーニング後に初期治療状況の解析を行い、引き続き予後の状況など経過を追跡する。

E. 結論

石川県における急性冠症候群に対する診療実態を分析し、地域間での救急医療体制及び初期救急体制の医療格差を検討し問題点を抽出していく。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし